

## 一般質問



民主・護憲クラブ  
櫻井 ちはる 議員



### 妊娠・産後ケアの手続に 電子化の導入を

問 産後の心身ケアや育児サポート等を行う日帰り型・宿泊型の産後ケアは需要が高まっている。妊娠中の健診から産後ケア等の手続が10数回ある中、紙様式のままだが、電

子化による負担軽減の考えは。

答 県の動向を注視しながら、電子申請への見直しや事務の効率化の検討を進めている。

### 不登校支援を含む、 SSWの常勤化など 教育費の拡充を

問 増加する不登校児童生徒の居場所として全校にハートフルルーム、地区公民館では専門職のSSWが担当するサテライトスペースが開設されているが、雇用形態が会計年度任用職員のため、教育費を拡充されたい。また、当初予

※ SSW =スクールソーシャルワーカー

算に占める教育費の比率は私が調べた県内自治体の中では最小だが、市長の見解は。

答 適切な教育を受けるには教育の充実が重要。教育予算にもしっかり取り組みたい。

### 高齢者運転免許証自主返納 支援額5,000円の増額を

問 自主返納支援額の物価上昇に合わせた増額の検討について、市長の見解は。

答 高齢者の移動を守ることは大変重要。御意見を聞きながら、できる限り充実したい。



自由民主党市議団  
豊福 達也 議員



### 子育て世代に 魅力的なまちとしての 持続可能な子ども政策

問 子供を応援する基金の創設により、国の予算に左右されずに本市独自で安定的な政策が展開できると考えるが、基金創設に対する市の考えは。

答 本市独自の取組等を行っ

ていく上で、貴重な財源となり得ることから、他自治体の事例も研究し、検討していく。

再発言 少子化が進む今こそ、本市独自の支援・施策の強化に尽力し、子育て支援のさらなる充実を要望する。

### 経済活性化につなげる 地域コミュニティの創出

問 地方経済の支援として、デジタルと地域コミュニティの両立を考えており、人と人とのつながりを生かしたコミュニティビジネスの支援は

販路拡大のチャンスとなり、本市の中小零細企業の後押しになると思う。地域コミュニティを経済活性化の手法とする視点について市長の見解は。

答 人的ネットワークと地域への思い入れが新たなビジネスにつながるケースもあると聞く。地域コミュニティの活性化は、まちの元気や経済の活性化につながると考える。

再発言 住民、事業者、行政が一つになり、地域の稼ぐ力を創出する観点から、経済を潤す取組を進めてほしい。



自由民主党市議団  
中原 誠悟 議員



### おおむた「大蛇山」 まつりについて

問 大蛇山まつりが、神事か、イベントかの位置づけについて、市としての見解は。

答 まつり開始当時から、まちおこしの一環のイベントとして実施されていると認識し、

開催支援を行っている。

問 まつりには多くの課題があり、まつりの将来を考える会の提言の全てを一度に実現するのは難しく、検討が必要だと思うが、市の見解は。

答 提言が段階的に実行される見込みであることを踏まえ、また、近年の物価や人件費高騰による会場警備費用や資機材価格の上昇を考慮しながら、来年度のまつり開催に向けて必要な支援を検討したい。

再発言 補助金の継続など市からの支援をお願いしたい。

### おおむたの未来を 担う子どもの 平和教育について

問 市内の小・中学校における平和教育の状況は。

答 教育指導計画に位置づけ、発達段階に応じて平和を尊ぶ心情を育成している。

再発言 日本遺族会は、平和の語り部事業に取り組まれ、福岡県遺族連合会でも多くの語り部講話が実施されている。本市ではまだ実施されていないことから、実施に向けて積極的に取り組んでもらいたい。